

このニュースレターは、国土交通省が提案している羽田空港の国際線増便について、地域の皆さまとのコミュニケーションの状況を広くお知らせするために発行しています。

## 「羽田空港のこれから」についての議論が続いています。

### これまでの検討の状況

人口減少と少子高齢化が進む中、豊かな暮らしを将来の世代に引き継ぐためには、世界との結びつきを深めることが課題となっており、成田空港とともに、首都圏の玄関口である羽田空港の国際線増便が検討されています。

現在、国土交通省から新たな滑走路の運用方法と飛行経路が提案されており、羽田空港国際線増便の必要性と実現方策について、説明会や特設ホームページ等を通じて、情報提供と意見聴取が行われ、多様な意見が寄せられています。



## 羽田空港の国際線増便について、多様なご意見が寄せられました。



国際競争力の強化、訪日外国人への対応、利便性等の観点から、羽田空港の国際線の増便の必要性については、多くの方々に共通する関心事項であった一方で、様々なご心配の声や対策を求める声が寄せられました。

提案に対する様々な不安や懸念の声に対し、どのような配慮や工夫、対策ができるか、その方向性や課題をお示ししつつ、議論を深めていくことが求められています。

私たちの将来に向けて、今後の国際線の需要に対応しつつ、環境影響を最大限軽減し、安全を確保するため、どのような配慮や工夫、対策が考えられるでしょうか？



### 国際線増便の 必要性と実現方策

- そもそもなぜ国際線増便が必要なのか。
- 他空港の活用も考える必要があるのではないか。
- 新飛行経路以外の経路はないのか。
- 騒音や安全について心配だ。

など

### 課題への対応方策

- 新飛行経路の工夫はできないのか。
- 騒音を小さくする方策はあるのか。
- 安全対策はどうなっているのか。

など

### 進め方について

- 更なる情報提供・周知に努めてほしい。
- 多様な意見を聴いて判断してほしい。

など

## フェーズ2では課題に対しての更なる議論が行われます。

フェーズ1では、国際線増便とその実現方策について、様々な意見が寄せられました。今後は、それらの意見から明らかになった課題について、引き続き、具体的な内容や対応についての更なる議論が行われます。フェーズ2においても、これまでと同様、住民の皆さまとの双方向の対話が行われます。

明らかになった課題について、更に議論が行われるのだね。

フェーズ1

フェーズ2

環境影響に配慮した  
方策の策定





# フェーズ2での主な検討課題



フェーズ2では、フェーズ1で寄せられたご意見を踏まえ、主に以下のような課題について、更なる情報提供と検討が行われる予定です。

## 羽田空港で国際線の増便はなぜ必要なのでしょう。

- なぜ国際線の増便が必要なのでしょう。
- なぜ羽田空港なのでしょう。(提案の背景は。成田空港など他の空港を活用できないのでしょうか)

など

## 羽田空港の国際線増便のための実現方策は。

- どのような背景から今回の経路見直し案が提案されたのでしょうか。(どのような選択肢が検討されたのでしょうか)

など

## 飛行経路の見直し等による環境への影響は。

- 音の聞こえ方は。
- 影響をできるだけ小さくするための方策は。

など

## 安全面の課題はないのでしょうか。

- 安全性はどのように確保されるのでしょうか。

など

## 国際線を増便した場合の羽田空港の姿は。

- 施設整備、空港アクセスや周辺のまちづくりは。

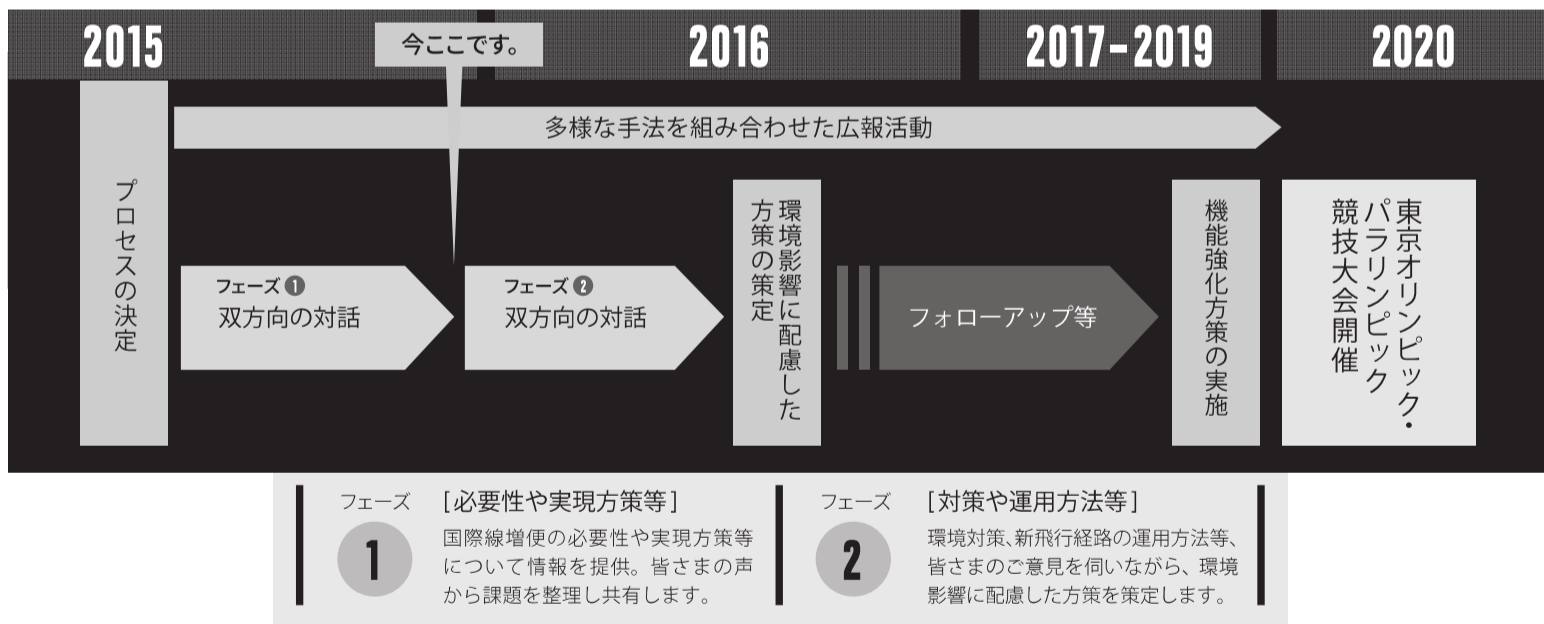
など

## 今後の分かりやすい情報提供は。

- 飛行経路や運用情報をホームページ等で分かりやすく示せないのでしょうか。
- 相談窓口を設けることはできないのでしょうか。

など

## フェーズ2でも双方向の対話が引き続き行われます。



フェーズ2でも多くのご意見をお待ちしています。



### ■ホームページから

<http://www.mlit.go.jp/koku/haneda/>

羽田空港のこれから 検索



ご意見フォームから直接投稿できます。



### ■説明会で

会場内の担当者がご意見をお伺いします。また、備え付けのコメントカードでご意見をお寄せいただくこともできます。(後日郵送いただくこともできます)



### ■電話でのご意見は Tel 0570-001-160

(IP電話からは、03-5908-2420)

『国土交通省「羽田空港のこれから」に関するご意見窓口』  
受付時間：平日 9:30 ~ 18:00

